

3000 m²未満の商業ビル内の施設の経営者の皆様へ

C-Kan プロジェクト本部 あすぶろ実行委員会

コロナ禍の中、お客様が自分と家族の命と健康を守り、安心して施設を利用できるようにするためのご提案です。

はじめに)

コロナ対応として、3密回避・マスク・手洗いは生活習慣として定着させるため、協力されてきたことと存じます。

しかし、それだけでは不足でした。

もう一つの望まれる重要な要素が換気の徹底です。

しかし、いかに換気を徹底していても、そのことがきちんと伝わらないと安心してもらえません。

安心いただかなければ、来店してもらえません。

換気の徹底の事実を伝えるには、現在の室内のCO₂濃度が安全基準の1000PPM以下であることを、目に見える形で確認できるようにすることが必要です。

店内のCO₂濃度の生データが安全基準の1000PPM以下であることを確認できれば、安心いただけるのではないのでしょうか。

1000PPMというのは厳しい数字です。寝室のドアを閉めて寝ると、起床時には1000PPMを超えます。狭い車内で空調を内部循環にしていると数分で1000PPMを超えてしまいます。

夏の冷房、冬の暖房で入口を閉め切っている場合、換気が不十分になるおそれがあります。店内の奥の方にCO₂濃度測定器を設置し、それを来店者が簡単に見られるようにすることが求められます。

CO₂濃度測定器の数値が1000PPMになりそうであれば、窓や入口のドアをその都度開けて換気を行うことで、お客様に安心してご利用いただくことができます。

ビル管理法適用外の3000 m²未満の小規模商業ビル内の施設(飲食店、エステなどの待合室)においては、従来の換気設備の換気能力が不十分なケースが多くみられるようです。1000PPMをどうしても超えてしまう施設です。

この場合、換気工事が必要となります。費用の助成制度(2/3、200万円以下)もご活用いただけます。

CO₂濃度測定器を購入される場合には、通産省の推奨するNDIR方式を採用し、校正/補正の機能があるものを選択ください。中国製がほとんどですが、不良品もあるので、よく売れていて評価の高いところ、問合せ対応のあるものをおススメします。昼間はCO₂センサーを移動させて計測することが多くなるので、充電せずに長く使用できるものにしましょう。

Amazon等で1台5千円程度から簡単にお求めになれます。

狭い施設であれば、①施設内のCO₂濃度測定器の数値を直接ご確認いただくことで対応できますし、広い施設であれば、②C-Kanシステムにより空気の上層部分に設置したCO₂濃度測定器の数値を、POP内のQRコード読取りにより自分のスマホで確認いただく形となります。

いずれも、店内ポスターと各テーブル上に設置したご案内のPOPにより、QRコードをクリックして、

換気の徹底と CO2 濃度についての基本知識を C-Kan サイトで学んでいただけます。

こうした姿勢がお店への信頼感を高め、来店者の増加にも寄与することが期待できます。

C-Kan プロジェクトでは①の場合、店内ポスター 3 枚、POP20 セットを 5,000 円で提供しています。

②の場合、導入費 33,000 円、年間使用料 33,000 円（3 年契約）で対応しています。

C-Kan プロジェクト HP の [お問合せフォーム](#) からご相談いただければ、対応しますので、お気軽にご相談ください。